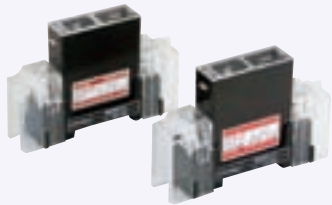


## AC110V/230V(単極型)

RoHS

ココが  
特長

## クラスⅡ・Ⅲ(JIS C 5381-1)低電圧用SPD

- 応答性に優れ高性能、無統流
  - ・ 応答速度: 3nsec以下
  - ・ 最大放電電流(I<sub>max</sub>)は、20kA、40kA(8/20μs)、雷サージ、開閉サージ、多重雷から電源を保護
- 劣化時の安心機能付き
  - ・ 切り離し装置内蔵
  - ・ 点検用透明窓から目視点検
- DINレール取付、ネジ取付対応
  - ・ 簡単、確実な点検と着脱機構
  - ・ 回路の絶縁抵抗測定(メガーテスト)可能
- 接地電極間の接続に使用可能

Delivery  
納期

## 出荷日

1~10個	翌日(当日)
11個~	都度見積

当日出荷は、17時までには都度お申し付けください。

在庫品

Order  
注文例

型式

MSPD-12L



型式	重量(g)	基準単価		スライド単価	
		1~2個	3~10個	11個~19個	20個~
MSPD-12L	110	¥5,287	¥4,887	¥4,750	¥4,600
MSPD-13L	115	¥5,287	¥4,887	¥4,750	¥4,600

## 特性表

型式	最大連続使用電圧 (50/60Hz)	公称放電電流 (8/20μs) <sup>注1)</sup>	最大放電電流 (8/20μs)I <sub>max</sub>	電圧防護レベル Up <sup>注2)</sup>	動作開始電圧 <sup>注3)</sup>	使用温度範囲	外郭の保護等級	使用電線範囲
MSPD-12L	110V AC	10kA	20kA(3回)	700V以下	250V±12%	-20℃~+70℃	IP20	5.5mm <sup>2</sup> ~14mm <sup>2</sup>
MSPD-13L	230V AC			1200V以下	500V±12%			

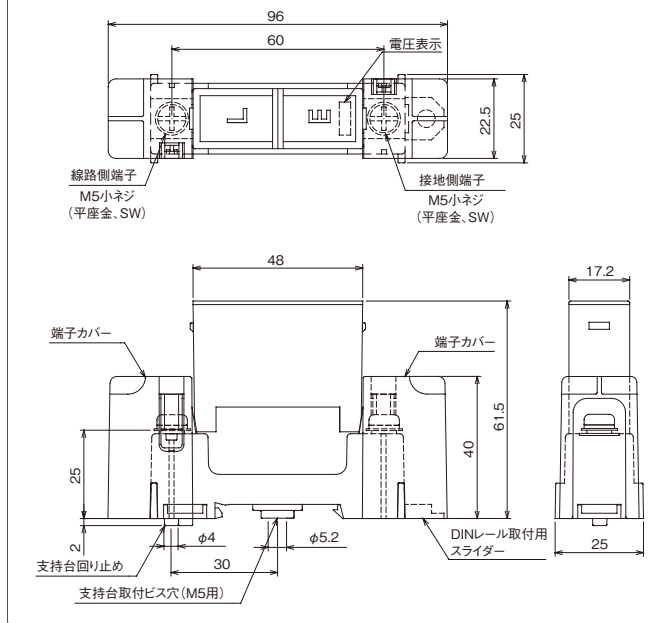
● JIS C 5381-1に準拠した表示です。

注1) JIS C 5381-1による17回印加し、良好な電流値。

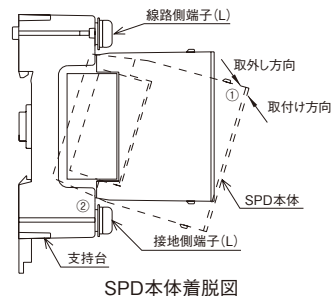
注2) 公称放電電流I<sub>n</sub>印加時の値。

注3) 直流1mA印加時の動作開始電圧を示す。

## 外形図



## SPD着脱の仕方



## (a) 装着する場合

SPD本体を斜めに傾けて接地側②へ押し当てながら支持台に押し込んで下さい。

## (b) 取り外す場合

SPD本体の線路側端面①を持って、SPD本体を接地側②方向へ押しながら矢印方向へ引っ張ります。

注) SPD本体を支持台と垂直方向へ引き抜く事は、脱落防止用凹凸のため取り外しは困難です。

## ■切り離し装置について

- ・ 素子が劣化した場合、SPDを電源回路から切り離します。
- ・ 点検窓から目視で点検できます。
- ・ ヒューズが溶断している場合は、速やかに本体を交換して下さい。

## ■使用上の注意

- 被保護機器の電源系統の上位で漏電遮断器等にて漏電保護を行って下さい。
  - ・ 最大連続使用電圧を超える電圧では使用しないで下さい。
  - ・ 本器は屋内用として設計しておりますので、屋外用として使用しないで下さい。
- 直射日光の当たる場所や、発熱体近傍など使用温度範囲を超える場所では原則として使用しないで下さい。
- 直接風雨にさらされる所や蒸気の出る所、高湿度の所では使用しないで下さい。
- 粉塵・塩分の多いところ、酸、アルカリ、腐食性ガス、溶剤、切削油、潤滑油などが付着した状態では使用しないで下さい。
- 本体に亀裂が入るような強い振動、衝撃(落下など)や圧力を加えないで下さい。

## SPD取付の回路図

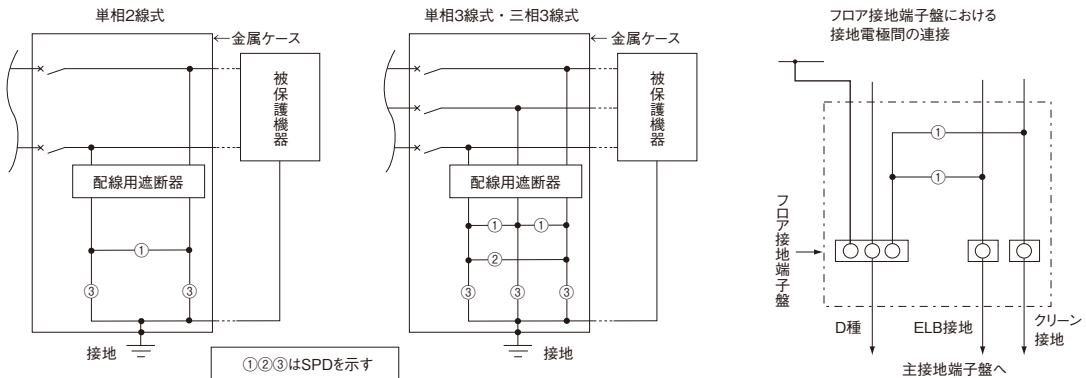


図1 SPDの取り付け回路図

- (1) 万一SPDが破損した場合、およびSPDの点検時に他の機器への影響を防止するために次の事項を厳守してください。
- ① 金属ケース(推奨: 透明窓付きの金属製分電盤)に入れてください。
  - ② SPDの点検用スイッチとして、図1に示す様にSPDの電源側に50AF、定格50AT以上の配線用遮断器等(MCCB)を取り付けてください。
    - 主幹器具の二次側に設ける場合は、定格遮断容量は5kA以上(国土交通省 建築設備設計基準 平成21年度版に記載)。
  - ③ SPDを主幹漏電遮断器の一次側に取り付ける場合、または、漏電による間接接触保護に対してより俊敏な切り離しが必要な場合は、点検用スイッチを漏電遮断器(ELCB)(50AF・定格50AT以上・定格感度電流30mA)としてください。
  - ④ 客先指定のある場合は、その指定に従ってください。
- (2) フロア接地端子盤における接地電極間の接続B種接地やクリーン接地など、単独接地された接地極を、雷サージ侵入時のみ短絡して電位差を解消(等電位化)します。

回路	記号	SPD①	SPD②	SPD③
単相2線	100V	MSPD-12L	—	MSPD-13L <sup>注1)</sup>
	200V	MSPD-13L	—	MSPD-13L
単相3線	100V/200V	MSPD-12L	MSPD-13L	MSPD-13L <sup>注1)</sup>
三相3線	200V	MSPD-13L	MSPD-13L	MSPD-13L <sup>注1)</sup>

注1) 100V系統または200V系統において一線地絡(漏電)事故が発生した場合、対地間には最大AC200Vmcの電圧が発生する可能性があります。このため、地間にはMSPD-13Lをご使用ください。

## メンテナンス

- 点検などでSPDに触る場合は感電の恐れがありますので、SPDの電源側に取り付けている点検用スイッチを必ず切って下さい。
  - 絶縁抵抗の測定や耐電圧試験を行う場合、SPD本体を支持台から取り外して下さい。
  - メンテナンス後は必ず端子カバーを取り付けてください。
  - 毎年の襲雷シーズン前後および襲雷直後に次のメンテナンスを行って下さい。
- (1) ケース外装樹脂に変色、変形があればSPDを交換して下さい。
  - (2) 切り離し装置の動作(温度ヒューズの溶断)が確認された時は、SPDを交換して下さい。
  - (3) 漏電遮断器が繰り返し動作する場合は、SPDが寿命になった可能性があります。SPDを交換して漏電遮断器が動作しなくなるか確認して下さい。
  - (4) 以下の電気特性を測定して、表を満足しているか確認し、満足していないときはSPDを交換して下さい。測定はSPD本体を支持台から取り外して行って下さい。

## 絶縁抵抗判定表

型式	使用絶縁抵抗計	絶縁抵抗判定値(以下の場合良好)
MSPD-12L	250Vメガー	0.15MΩ~5MΩ
MSPD-13L	500Vメガー	0.25MΩ~10MΩ

※抵抗値はJIS C 1302-1994の測定器にて計測した場合です。